

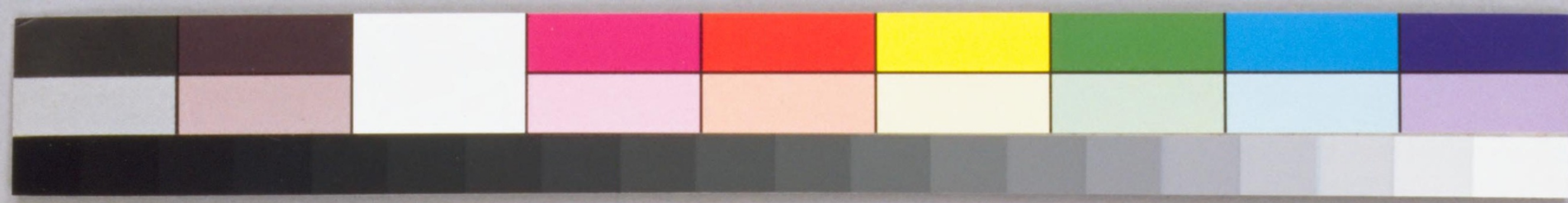
ありとほし



ありとほし 1冊 WA7-236 00-001

国立国会図書館





次方
 下
 玉は清よ集る哉 是ハ紀賀之
 少々ハ我和哥能為小まーる也
 以人其位吉也清時よ集る以
 程よ唯々思ひ立紀の路乃旅小
 赴山 芳よひてう清くに由依
 旅旅くくよ乃閑天能明音小



00W63429

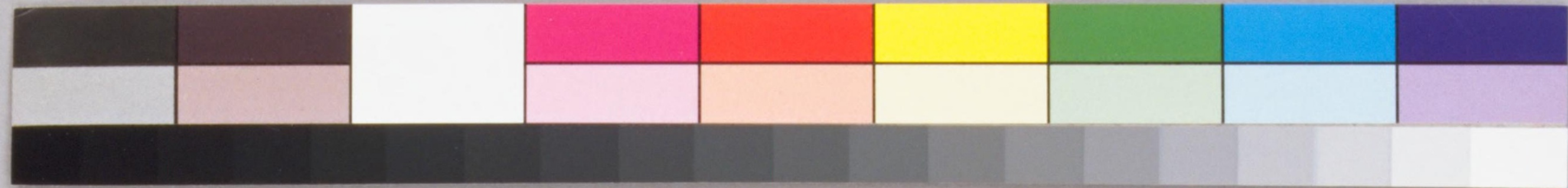




三乃定能月影をどく思ひ
やふも雲外ハ惚よ備たり
と新わらる空よやねる冬を
地うけがあし子く
燃るしハ教行虞氏ノ渡乃
西乃あしをひり歌申り
虞いかにへ来たりもあ

あゝ嘆止やハ満海の西乃
志きつわりぬほき寺能種の
下 静もやえけなよとねさハ
下 涼を能種のあけ燈乃ひり
なんといふ神さひもけ見
渡る小社歌をよ秋冬燈もあ
下 け 志め能静もあえ可神ハ





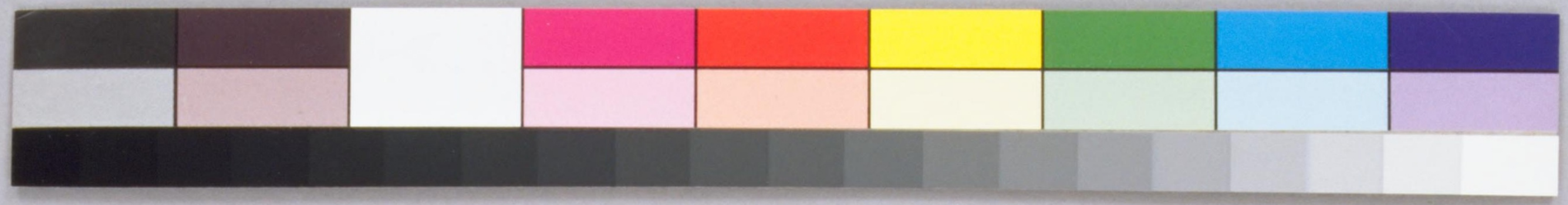
下

幾ひのな〜り〜
 ぐんやもわひもわかま事よ
 ぶ〜く清燈ハ闇をせ和光乃
 うけをよも〜
 中 ぬきた乃言かせや 中 なよ〜
 あけ燈乃ひらよほつ〜
 事乃以〜事能宿を清傳久

五言

いかたわめは清宿もあ〜
 けま〜
 かの〜
 志あも乃わ〜
 前後を忘〜
 涙もながるるは〜
 下馬出〜
 ね下馬を
 下馬出〜
 下馬出〜

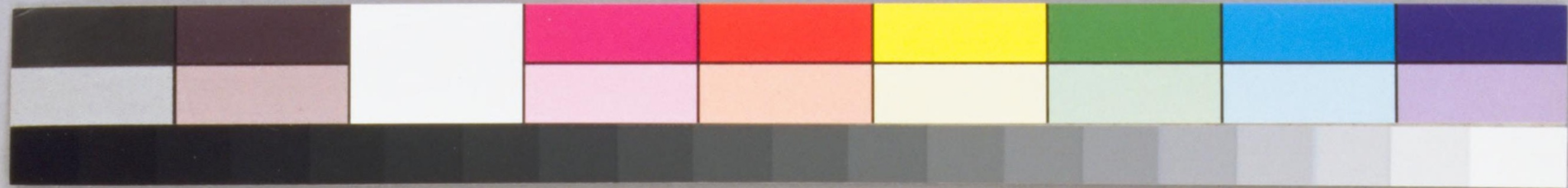




かまよとく後、^三あつむ神ふ子
 清もやあまをいほ乃明祿とそ
 もおとつ志たまふ清神乃
 づるもつとあつむ上あつむなづも
 清あまゆり、^{早上カレ}是ハ、^{早上カレ}あつむ
 清もかお清社を、^{早上カレ}は森原うら
 へよあまを言人乃、^{早上カレ}燈の光乃

うけよまを種を、^{早上カレ}実も言居ハ
 ありまをいほ、^{早上カレ}神、^{早上カレ}神を居乃
 二柱は清もゆき入り、^{早上カレ}種を
 あたけかぬ実も社壇乃あり
 々はる馬上よむ里踐寸江小乃
 物陰の意もあつむあつむあつむ
 あり祿あをたまはるあつむあつむ

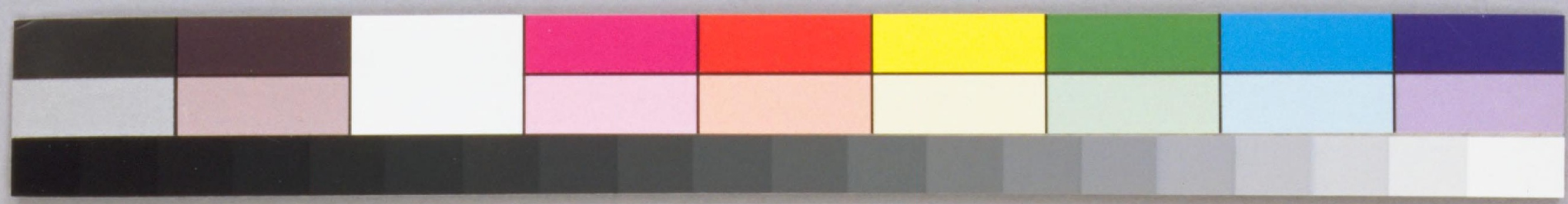




是はいつくか
 人よとて渡りゆく
 是は紀貫之
 其の以て
 舟をよみて祿直は清和向ふ
 此は作とて久とともて舟を
 えたる人よとて各あま我の
 と此言葉乃に清和とて神直に

言乃葉は清和を心よとて
 此言葉乃に清和とて神直に
 舟をよみて祿直は清和向ふ
 此は作とて久とともて舟を
 えたる人よとて各あま我の
 と此言葉乃に清和とて神直に
 思ふは清和面白く
 思ふは清和面白く





叶ハぬ厚ヨクおもはる

おもひは哥にいくと神

る甘くくま早よかるしちる

もろかな種をがもる納受なる

ハ菜の心早百の言葉ハあ

しちる早なわてててて

おもひはるおもはる

有有心ハあるおもはる乃清

凡哥ハはら歌おもはる

地まににやめをツて古乃

ハの清也上も種を私哥乃

わきハ神代ハおもはる

ト人偏ハあまのしちる

ほめて甘中ハおもはる





清玄所を承りてて
 ままに志那をえりて
 よけりひを結成しき
 代の
 しを成るる
 下名
 をよるおもはるる
 心
 以てかかへるる
 人代よ及せて
 解るるを

凡俗長歌は哥
 旋頭混本は歌
 是なるを雑
 源流やまを
 下
 以乃聲河ま
 下
 乃旋ハヤ乃
 下
 夫々々々
 神木納受の





心よりのあふ人もあは
 奇特小を板乃関の清めよけ
 えおるばふくお弱をひな
 下、く、種、ハ、キ、也、那、ま、と、流
 二、二、下、小、歩、こ、遊、く、裁、多、南、枝、よ
 下、巢、を、の、け、初、馬、小、風、り、以、り、之、
 た、わ、哥、よ、危、り、も、袂、を、路、踏、り

神魚乃海をあぬゝを床へ築り

言人よまゝに冬乃海と成

よみて袂魚を以て先好く

ツ、そ、く、乃、海、と、成、り、ま、ま、と、成

神乃志しゆあうをふくも

ち、あ、手、向、と、ひ、な、花、乃、雪、成

ち、ら、し、ま、再、拜、寸、禮、上、再、拜

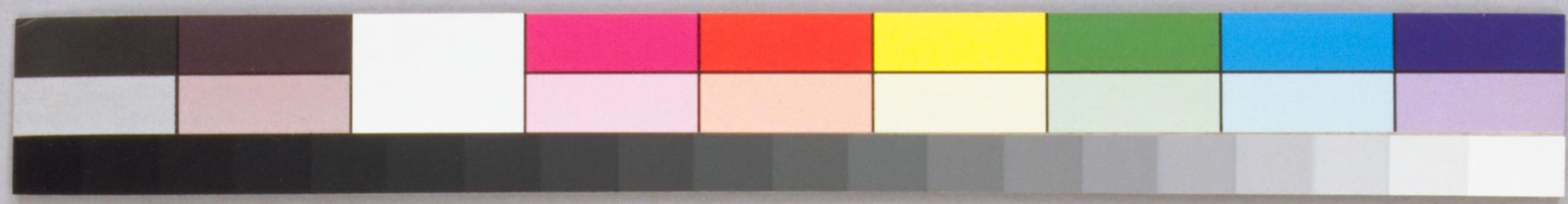




天地ひろけり上苑まはり
 よるを舞歌乃るうす明ほかな下
下いさ賀えの言葉終り浦乃く
 ぐんか心を感ゆるゆへり
 ぐわよすうをえおるうとそ
 みる居乃るまりうさか
 ありてう終ありとぞ一まのよそ一

うきくはやまりり勢よわ下
 賀えも是をよ終るひ乃必踐の下
下神樂奏いあやを終る終り下
 ちぬるく





国立国会図書館

ありとほし 1冊 WA7-236 00-012

国立国会図書館





ありとほし 1冊 WA7-236 00-013

国立国会図書館

